

# 財務状況を全般的に説明する資料

## 2019年度 学校法人藍野大学 決算の概要

2019年度決算は、2020年7月27日の学校法人藍野大学理事会及び評議員会において承認決議されました。

2019年度の本学の収支決算の概要は以下の通りです。

### (1)資金収支決算

「資金収支計算書」は、その年度の教育研究等の諸活動に対応するすべての収入・支出の内容および支払資金(現金・預貯金)のてん末を明らかにする計算書類です。活動内容ごとの収支は「活動区分資金収支計算書」に記載されています。

2019年度の資金収入は、学生生徒等納付金収入、手数料収入、補助金収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め39億7,316万円となりました。

資金支出は、教職員人件費、教育研究や法人運営に係る経費、施設設備費のほか借入金返済などの支出を含め54億9,337万円となりました。結果、2019年度単年度での収支は15億2,021万円の支出超過となり、期末の繰越支払資金は35億755万円となりました。

2019年度は、支出超過額が多くなっていますが、びわこリハビリテーション専門職大学の開設、教育研究環境の基盤整備、教育の質保証への取り組みを重点施策とし、藍野大学の新校舎メディカル・ラーニング・コモンズ(2019年12月竣工)建設や各設置校の改修工事、設備更新など将来投資を行っているためです。これらに係る支出の多くは固定資産として計上され、将来の長期間にわたり教育研究活動に資するものとなります。

### (2)事業活動収支決算

「事業活動収支計算書」は、当該年度の本法人の活動に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除したすべての事業活動収入および事業活動支出の均衡状態が保たれているかどうかを示す計算書類で、企業会計でいう損益計算書に類するものとなります。この計算書類は「経常的な収支」と「臨時的な収支」に区分して示され、学校法人の経営状況をよりわかりやすくし、経営状態の健全性を判断する材料となります。経常的な収支のうち、本業である教育研究活動の収支状況を表す教育活動収支では、学生生徒納付金収入等の教育活動収入から教育活動に必要な支出である教育活動支出を差し引き、教育活動収支差額(営業利益に相当)を算出します。2019年度は7,951万円の収入超過となりました。主に財務活動の収支状況を表す教育活動外収支差額は1,141万円の支出超過となりました。この結果、経常収支差額(経常損益に相当)は

6,809 万円の収入超過となりました。2019 年度は教育研究の質向上のため各設置校において施設設備の改修や更新を行い、これに伴う固定資産を処分しました。その処分額1億2,091万円は臨時的な収支を表す特別収支に施設設備処分差額として計上され、特別収入と特別支出との差額である特別収支差額(企業会計でいう特別損益に相当)は、1億527万円の支出超過となりました。特別収支は単年度のみ発生するものであり、継続的に生じるものではありません。この結果、基本金組入前当年度収支差額は3,718万円の支出超過となりました。

基本金組入額2億円は今後の茨木キャンパスの施設設備整備のため、計上したものであり、計画に従い2021年度まで毎年2億円が第2号基本金に繰り入れられます。基本金取崩額4億3056万円は前述した固定資産の処分に伴うものです。なお、施設設備処分差額は帳簿価額(取得原価-減価償却累計額)で、基本金取崩額は取得原価で処理されるため金額は一致しません。結果、当年度収支差額、前年度繰越収支差額、基本金取崩額の合計である翌年度繰越収支差額は43億946万円の支出超過となり、前年度と比べ1億9,337万円支出超過額が減少しました。

### (3)貸借対照表

貸借対照表は決算時点における学校法人の財政状態(資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の内容および残高)を示しています。

2019年度は、「(1)資金収支決算」「(2)事業活動収支決算」で述べたびわこリハビリテーション専門職大学開学準備に伴う施設設備整備や教育研究の質向上のために藍野大学の新校舎メディカル・ラーニング・コモンズ建設、各設置校の校舎改修工事などの実施、それに伴う施設設備の更新に伴う固定資産を処分により、固定資産は前年度比21億9,671万円増の138億3,342万円となりました。また、2019年度から第2号基本金への繰入額を、第2号基本金引当特定資産として計上しています。メディカル・ラーニング・コモンズ建設及び各設置校の改修を、自己資金及び借入により実施したため、現預金が前年度比15億2,021万円減、借入金が長短合わせ1億6467万円増となっています。また、2019年度に完成した工事代金の一部が2020年度に支払うことになったことや、メディカル・ラーニング・コモンズに設置する機器備品をリースにより調達したため、未払金長短合わせ前年比7億2,688万円増加しています。

これらの結果、2019年度末における資産総額は前年度比8億9,549万円増の176億3,370万円となり、負債が前年度比9億3,267万円増の59億2,821万円、純資産は前年度比3,718万円の減の117億549万円となりました。

(注) 四捨五入の関係で説明中の数値合計は必ずしも一致しません。